



ダムは、大雨のとき、放流する水量をコントロールし、ダム下流河川の急激な水位上昇をおさえています。

令和5年8月の台風では、鳥取市の佐治川ダムで、限界を上回る雨量によりダムが満水となり、上流からの水を貯めることができなくなったため、緊急放流※を行いました。

近年、気候変動による洪水リスクが高まっていると言われており、**ダムがあるから安心と思わず、早めに避難し命を守る行動をとってください。**

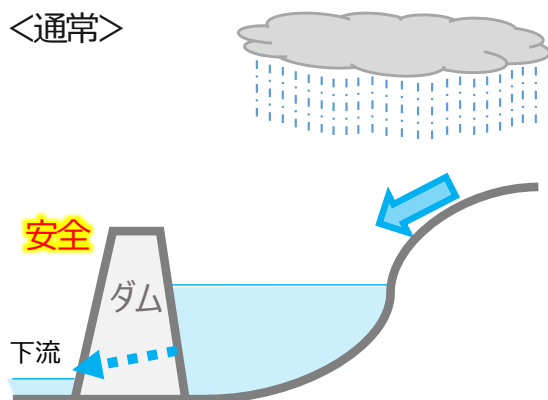
※緊急放流は下の図を参照してください。

ダムの限界

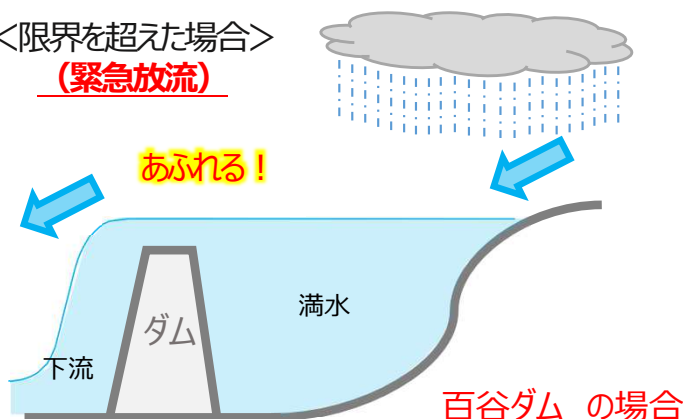
大雨のときは、上流から流れてくる水の一部をダムにためることができるため、下流は安全です。

豪雨により貯水能力の限界を超えると、ダムに流れてきた水がそのまま下流へ流れるため、被害が発生する恐れがあります。

<通常>



<限界を超えた場合>
(緊急放流)



ダム放流への備え

緊急放流の場合、河川の水量が増えて氾濫する恐れがあるため、早めの避難をお願いします。



ダム下流にお住まいの皆様は、ダムの機能や放流情報の伝達方法等についてご承知ください。



【ダムの情報】

- 県管理の治水ダム
 - ・佐治川ダム
 - ・百谷ダム
 - ・東郷ダム
 - ・朝鍋ダム
 - ・賀祥ダム



【鳥取県防災情報ポータル】

- 河川監視カメラ提供システム
- とっとりゆきみちナビ

